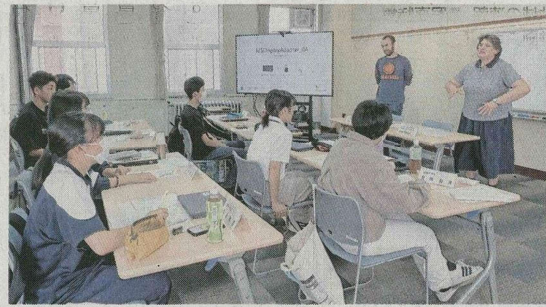


2023年(令和5年)10月15日付

室蘭民報

ホームステイの心得学ぶ



〈室蘭・中学生ノ市派遣事前研修会〉
2023年度室蘭市中学生海外交流事業(米国ノックスビル市派遣)の事前研修会がこのほど、市役所で行われ、現地に赴く中学

校2年生9人が、ホームステイの心得などを学んだ。
新型コロナウイルスの中断を経て、派遣事業は4年ぶりの開催。今月26日

交流事業の事前研修に臨む生徒たち(提供写真)
から11月2日までノックスビル市を訪れる。派遣に先立ち、海外旅行の基礎知識や現地での日本文化の紹介準備、英会話を学ぶ事前研修会を9月2日から全4回開催してきた。
4回目の研修会では、市の外国語指導助手(ALT)である瀧澤ジェーンさん、ノックスビル出身のニコラス・イングルさんを講師に招いて、現地の様子をクイズ形式で学んだほか、ホームステイの心得やアメリカの文化などを学習した。(石川昌希)

◇おこわり「むろみんトク」「さわやかさん」は休みました。

2023年(令和5年)10月20日

北海道新聞

米の姉妹都市へ中学生が出発式



室蘭市の海外交流事業で、市の姉妹都市・米ノックスビル市を訪問する中学生9人の出発式が18日、市生涯学習センター(中島町)で行われた。
交流事業は29回目で、新型コロナウイルスの影響で

出発式で抱負を語る生徒(室蘭市提供)
4年ぶり。これまでで中学生計333人を派遣した。出発式では奈良信一副市長らが激励を送り、生徒一人一人が抱負を述べた後、交流先の中学校で睡る予定のよさこいソーランやラジオ体操などを披露した。
一行は26日、11月2日に滞在し、ホームステイや中学校で授業体験を通して現地の中学生らと交流する予定。(高木乃梨子)

中学生9人ノ市へ出発

室蘭市姉妹都市交流



室蘭市の海外交流事業で、姉妹都市である米南ノックスビル市を訪問する中学生9人が26日、出発した。11月2日までの日程で、ワシントン市内の見学や現地中学校の授業参加、ホームステイを通して異文化交流を

2023年(令和5年)10月20日

北海道新聞

深める。
同市への中学生派遣は29回目で、新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶり。これまで中学生333人を派遣しており、今回で累計342人となった。
26日早朝、室蘭市役所には引率者2人を含む中学生11人と見送りの家族らが集まった。中学生たちは「貴重品は肌身離さず」「頑張りついで、いってらっしゃい」と見送られ、バスで空港に向かった。
一行は、ワシントンDCや世界博公園内にある室蘭通の、ノックスビル動物園などを見学、スター・ブラフ中学校を訪問する。30日に行われる歓迎会では、よさこいソーランなど日本の文化を紹介しながら、現地の中学生らと交流する。11月1日に現地を出発し、2日夜に帰国する予定。
この日事前に市生涯学習センター(中島町)で行われた出発式では、奈良信一副市長が「貴重な体験を楽しまながら、たくさんの人と交流を」と激励を送った後、生徒は一人ずつ抱負を述べた。室蘭西中学校の米田ひとみさんは「アメリカの伝統音楽を知り、そこで得た知識や経験を今後の人生に生かしたい」と胸を躍らせていた。(小笠原皓大)

2023年(令和5年)10月19日
NHK北海道

北海道 NEWS WEB

室蘭市の中学生 アメリカ姉妹都市への4年ぶりの派遣で出発式

10月19日 18時57分



室蘭市の中学生が、姉妹都市であるアメリカのノックスビル市へ4年ぶりに派遣されることになり、出発式が行われました。

室蘭市は姉妹都市であるアメリカ南部テネシー州のノックスビル市へ毎年、中学生を派遣してきましたが、新型コロナウイルスの影響

で中止が続き、今回、4年ぶりに実施されることになりました。

市内では、18日出発式が行われ、参加する中学2年生9人のうち、8人が出席しました。

はじめに奈良信一副市長が、「多くの人と交流して、貴重な体験を楽しんで帰ってきてください」と激励しました。

続いて、生徒が1人ずつ抱負を述べ、このうち、桜蘭中学校の中田莉央さんは、「日本と異なる環境での生活の中で、物事をさまざまな視点で捉えたり、臨機応変に対応したりするきっかけを作りたいです」と意気込みを語りました。

最後に生徒たちは、現地で紹介することになっているよさこいソーランを披露しました。

一行は、今月26日に出発し、ノックスビル市でホームステイをしたり、中学校で交流したりして、来月2日に帰国する予定です。

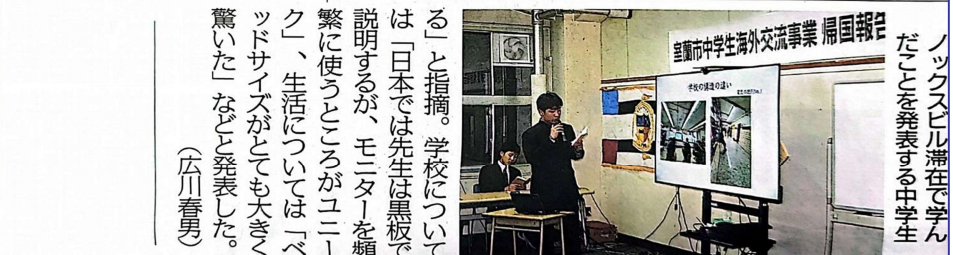
室蘭西中学校の土山大洋さんは、「海外の人と交流を深め、いろいろなところで一緒に行くのがとても楽しみです。英語をたくさん使ってコミュニケーションをとりたいです」と話していました。

2023年(令和5年)11月21日
北海道新聞

「ベッド大きく驚き」米国派遣の体験報告 室蘭の中学生

室蘭市と姉妹都市提携を結ぶ米ノックスビル市を訪れた市内6中学校の生徒9人の報告会が市庁舎で開かれ、肌で感じた米国の文化や生活について発表した。市は1990年に海外派遣事業を始め、これまでに中高生計342人を派遣。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりとなった本年度は10月26日～11月2日の8日間、ホームステイしながら中学校で授業を体験するなどした。

現地では文化、学校、生活の3項目を各3人ずつで調査。14日に行った報告会では、文化グループは流行の音楽について「多様な国の音楽を聴く日本人と違い、アメリカ出身や拠点とする歌手を好む傾向があ



る」と指摘。学校については「日本では先生は黒板で説明するが、モニターを頻りに使うところがユニーク」、生活については「ベッドサイズがとても大きく驚いた」などと発表した。(広川春男)

『ノックスビルの友』 室蘭市中学生海外派遣報告

2024年(令和6年)1月11日～19日 室蘭民報 掲載分

ノックスビルの友

室蘭市中学生海外派遣報告

■ 2 ■



ホームステイ先の家で。右が本人

私はホストファミリーのWarnerから連絡が来たとき、とても緊張していました。慣れない英語でのメールでは翻訳機を交わしながらのメールでしたが、大丈夫だよと言われて、メールの中から「お久しぶりさ」が伝わってホッとしました。動物園の看板が見えてくる頃、緊張と不安で潰（つぶ）れそうでした。しかしバスから降りて見えたのは「welcome Hitomi」

ホームステイの思い出

室蘭西中2年 米田 ひとみ

「10月26日早朝、ワクワクと下駄を履き、アメリカをあとにしました。「アメリカなんて簡単だろう」という容易な考えが何処かにはありました。しかし、実際は驚きの連続でした。まず最初は荷物のこと

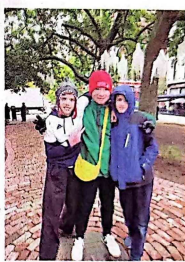
が嘘(うそ)のようでした。動物園で買ったWarnerとお揃いのTシャツを着て、その日の夜、飯は私とWarnerと友達の時

2023年度室蘭市中学生海外交流事業が昨年10月26日から11月2日まで、姉妹都市「米国ミネソタ州ノックスビル市」に派遣された。この数日の経験を生涯忘れられない宝物にするために、僕は、世界に飛び出して行きたいと思

ノックスビルの友

室蘭市中学生海外派遣報告

■ 3 ■



タウンで左がダウンの仲間、向かいがビルのカンマース。向かいがビルのカンマース。向かいがビルのカンマース。

忘れられない宝物

室蘭西中2年 土山 大洋

「アメリカ入国後は首都であるワシントンD.C.を取りはじめて、その前にニューヨークに行きました。アメリカ入国後は首都であるワシントンD.C.を取りはじめて、その前にニューヨークに行きました。

2023年度室蘭市中学生海外交流事業が昨年10月26日から11月2日まで、姉妹都市「米国ミネソタ州ノックスビル市」に派遣された。この数日の経験を生涯忘れられない宝物にするために、僕は、世界に飛び出して行きたいと思

ノックスビルの友

室蘭市中学生海外派遣報告

■ 4 ■



優しい家族に安心 東明中2年 熊谷 瞭那

私はアメリカに行く前の2週間ほど前からホストファミリーのAbigailとBBQの準備がはじまりました。その日は、待ち合わせの動物園に入ったときから、手を振ってくれ、ハグもしました。家族はみんな優しい人でとても安心した。夜は室蘭西中学校的な雰囲気です。三方、テネシー川沿

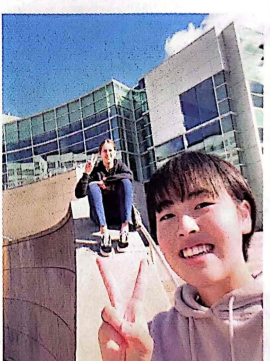
優しい家族に安心 東明中2年 熊谷 瞭那

優しい家族に安心

ノックスビルの友

室蘭市中学生海外派遣報告

■ 3 ■



サン・スフェア前広場に。本人は手前

涙いっぱい別れの日

翔陽中2年 音無 彩月

アメリカへ行く前に何を取得するの難しい度かホストファミリーのAbigailとBBQの準備がはじまりました。その日は、待ち合わせの動物園に入ったときから、手を振ってくれ、ハグもしました。家族はみんな優しい人でとても安心した。夜は室蘭西中学校的な雰囲気です。三方、テネシー川沿

最後に感謝を伝え「See you again」と言って空港を後にしました。この4日間、私にたくさんのおもてなしが、私に感謝しかありません。もしエリーが室蘭に来てくれたら私はたくさんのおもてなしをしたかった。このように素晴らしい機会を与えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

ノックスビルの友

空蘭市中学生海外派遣報告

■ 6 ■

私は初めてホストファミリーと対面する動物園に近づくと、不安と緊張で頭の中がいっぱいになりました。そして動物園に着き、バスから外を見ると、私のホストファミリーのEdenが私の名前を書いたウェルカムボードを持って待っていました。バスから降りるとEdenは私がかわいく話しかけてくれて、私の中で緊張が少し

ずつほぐれていきまし

楽しかったダンス交流

桜蘭中2年 中田 莉央



では私の英語を最後まで聞いてくれて私の希望にあつたものをみんな探してくれたり、ノックスビルのTシャツをプレゼント

お別れの日にノックスビルの空港へ(左端が筆者)

てくれたり私のダンスに対して「Go Rio! Go Rio!」と声をかけてくれてとても楽しかったです。最終日はハロウィンでした。用意してくれた仮装を着て、「Trick or Treat」と言いながら回りまわりました。日本にはない文化を体験できて楽しかったです。最後は夜という実感がともにまた帰るの

いと悲しくなりました。そしていよいよお別れの日がやってきました。私は家族一人ひとりに感謝の気持ちを手紙にまとめて渡しました。お別れはとも悲しかったけれどみんなも泣いてくれて嬉しかったと改めて感じました。また、Edenが「来年空蘭にいきたい」と言ってきてくれたかったです。

ノックスビルの友

空蘭市中学生海外派遣報告

■ 5 ■

ノックスビル派遣は、真新しい経験の連続でした。シダーブラフ中学校訪問では、私の研修テーマである学校生活の違いを体験することができました。アメリカでは人によって時間割が違い、私のホストファミリーのJonathanは私と同じ年なのに高校数学の授業を受けていました。昼食はみんな同じ給食を食べる日本と違い、食卓で好きなものを選んだり弁当を持参したりして、仲の良い人と集まって食べます。何より驚いたのは、早く食

えた人はテレビゲームで遊べることでした。学校生活を比べると日本は「全員で」、アメリカは「個々で」の活動が多いように感じました。だからといってアメリカ人は協調性や団結力が

真新しい経験の連続

桜蘭中2年 小美浪 颯士



がないとは思いませんでした。私達の歓迎会をとても盛り上げてくれたし、みんな楽しく過ごることができたからです。個々の活動が多いですが、私の片言の英語を真剣に聞いてくれ

たおかげで、徐々に緊張がほぐれました。料理を持ち寄るポットluckパーティーや市観光に行ったりして楽しんでいます。Jonathanは空蘭に居るといって、昔日本に住んだことがあつたというJonathanのおじいさんの家で、読売ジャイアンツのグッズコレクションを見せてもらったり、テネシー州のロゴ入りの帽子を

ハロウィン当日、Jonathanと仮装(中央が筆者)

プレゼントしてもらった。ハロウィンの夜は、本格的なスケルトンのコスチュームを着近所でトリックオアトリートをして回ると、最終的に日本に持って帰れるかなと不安になるほど大量のお菓子をもらいました。今回の派遣で、今後も海外と交流する活動に積極的に取り組みたいと思ふようになりました。Jonathanは空蘭に行きたいと言っていたので、ぜひ私の家をホームステイしてほしいです。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

ノックスビルの友

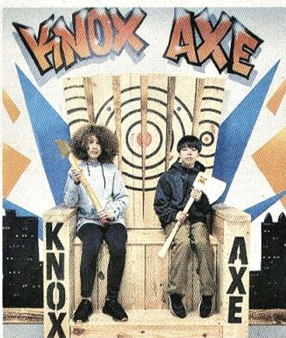
空蘭市中学生海外派遣報告

■ 7 ■

ノックスビルに行く前はとても緊張していて、不安でいっぱいでした。なぜなら、ホストファミリーとのやり取りが不安になるほど大量のお菓子をもらいました。今回の派遣で、今後も海外と交流する活動に積極的に取り組みたいと思ふようになりました。Jonathanは空蘭に行きたいと言っていたので、ぜひ私の家をホームステイしてほしいです。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

「斧投げ」いい思い出

桜蘭中2年 本藤 慎之典



Micahと斧投げをした時の写真。右が筆者

「斧投げ」いい思い出。二日目にはショッピングモールに行きました。お土産も買いましたが、一番印象に残ったのは、Micahと一緒に斧(おの)投げをしたことです。斧をポードに向かっ

合流しました。この日はハロウィンだったので五時から、Micahと友達と友達のホストファミリーと一緒に仮装を集めました。みんな仮装して家の飾り付けも凝っていて日本ではなかなか見られない光景でした。次の日、お別れするときとても寂しかったので、Micahとハグしたときには、お別れを感して目が潤みました。日本に行きたいと言われて、ノックスビルでMicahと過ごせて良かったと改めて思いました。最後に、この研修を支えてくださった皆さん、ホストファミリーの方々、本当にありがとうございました。

2023年(令和5年)11月22日(火)

在ナッシュビル日本国総領事館の facebook ページに、室蘭市中学生訪問団の記事が掲載されました。

Consulate-General of Japan in Nashville 在ナッシュビル日本国総領事館 2023年11月22日

A delegation from Muroran city in Hokkaido, Japan recently visited their sister-city in Knoxville, TN. The delegation included both students and adults. The students stayed with host families and attended Cedar Bluff Middle School where they gave a Soran Bushi dance performance.

The adults in the delegation met Knoxville Mayor Indya Kincannon, visited several schools in the area, and got to go sightseeing around Knoxville.

The Consulate-General of Japan in Nashville supports sister-city relationships with Japan. If your city has a delegation visit from Japan, we'd love to share photos and stories from your event too!

10月末、北海道室蘭市の代表団が姉妹都市であるテネシー州ノックスビルを訪問しました。一行には学生と社会人が含まれていました。生徒たちはホームステイをし、シーダーブラフ中学校でソーラン節を披露しました。
大人たちはノックスビルのインディア・キンキャノン市長に会い、同地域のいくつかの学校を訪問し、ノックスビル周辺を観光しました。
在ナッシュビル日本国総領事館は、日本との姉妹都市提携を支援しています。あなたの都市にも日本からの訪問団がいらっしゃいましたら、ぜひ写真やエピソードをお寄せください！



あなたと他の人 コメント1件 シェア1件

超いいね! コメントする シェア